

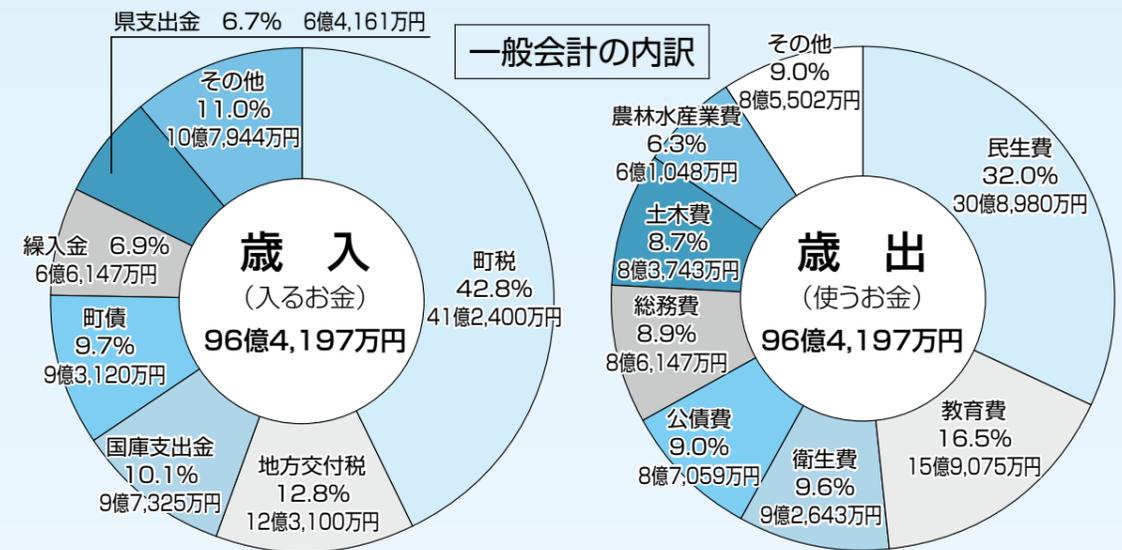
「人と緑のホームタウン いなみ」の実現をめざして!

人口減少に歯止めをかけることを最優先課題とし、まちの目標人口3万5千人をめざして様々な施策に総合的に取り組みます。



平成26年度当初予算

一般会計予算額は96億4,197万円



各会計予算総括表

区分	予算額	対前年伸率
一般会計	96億4,197万円	6.9%
特別会計		
国民健康保険	39億3,125万円	1.6%
後期高齢者医療	3億3,492万円	16.8%
介護保険	20億9,669万円	2.6%
介護サービス	1,768万円	12.8%
下水道事業	11億3,756万円	0.4%
農業集落排水事業	5億4,483万円	54.0%
計	80億6,292万円	4.7%
水道事業会計	8億2,179万円	1.4%
合計	185億2,668万円	5.7%

※表示単位未満を四捨五入しており、積み上げと一致しない場合があります。

用語解説

地方交付税

財政力が弱い自治体でも、福祉や教育などの基本的な行政サービスができるよう国が配分するお金

町債

町の借金。道路や建物など、何十年も使っていく施設の建設費を今後利用する住民にも負担してもらうもの

公債費

借りたお金(町債)を返済していく費用

平成26年度の全会計の予算総額は185億2,668万円で、前年に比べて5.7% (9億9,195万円) の増額となりました。

一般会計の予算額は96億4,197万円で、天満東小学校大規模改造事業や文化会館等舞台機構改修事業、消費税率の引き上げに伴う臨時給付金給付事業などで、前年に比べて6.9% (6億2,173万円) の増額となりました。歳入では町税はほぼ前年度並みで、消費税率の引き上げにより地方消費税交付金は前年度より増額となりましたが、代わりに国からの交付税などが減額となっており、歳出に対する収入の不足を基金の取り崩しで穴埋めする厳しい財政状況は続いています。このような状況の中ですが、福祉、教育、衛生などの生活に密着した予算を確保したうえで、人口増加対策事業や中学校給食運営事業、安全・安心に関する事業など、地域の課題に対応する予算を盛り込みました。

特別会計では、医療や介護にかかるお金が年々多くなっています。また、農業集落排水事業については、施設の機能強化事業により、前年度より増加しています。

平成26年度主要施策

自然と住環境が調和した安全で快適なまち

- 沿道等活性化地区計画策定事業 (732万円)
- 新規バス路線開設事業 (母里地区及び天満南地区から役場周辺並びに町内から県立加古川医療センターを結ぶバス路線の開設に向け、運行に関する環境整備を行います。)
- 住宅耐震等補助事業 (156万円)
- 地震による家屋の倒壊等から人命を守るため、寝室等の耐震改修工事の補助を行います。
- 親元近居新築住宅取得支援補助事業 (1,080万円)
- 小型家電回収ボックス設置事業 (55万円)
- ごみ処理広域化推進事業 (859万円)
- 防災行政無線整備事業 (725万円)

- 防犯灯等LED導入事業 (1,415万円)
- 反射タスキ着用推進事業 (100万円)



▲ 暗くなってからの外出は反射タスキを着用しましょう

誰もが健康でいきいきと子どもの笑い声が響くまち

- 介護保険計画等策定事業 (3年を1期とする町が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画を策定します。)
- 妊婦歯科相談事業 (12万円)
- 児童手当支給事業 (5億7,828万円)
- 子育て世帯臨時特例給付金給付事業 (4,003万円)

人とひとの絆を深め子どもの夢と志を育てるまち

- 臨時福祉給付金給付事業 (8,326万円)
- 中学校給食運営事業 (成長期にある生徒の心身の発達のため、自校直営方式による中学校給食を実施します。)



▲ いよいよ中学校給食スタート

住民協働でつくる自立したまち

- 天満東小学校大規模改造事業 (3億4,048万円)
- 稲美北中学校大規模改造事業 (1,368万円)
- 文化会館等舞台機構改修事業 (1億5,290万円)
- 行政改革大綱策定事業 (効率的な行政運営を進め、自立できる行政をめざし、行政改革大綱を策定します。)
- 情報化推進事業 (51万円)
- 大学と連携したまちづくり事業 (50万円)

地域の特性をいかした活力とにぎわいのあるまち